

SQiPの国際活動について

SQiPソフトウェア品質運営委員会 運営委員長
野中 誠（東洋大学）

2017年11月24日

7WCSQ・ASQN2017凱旋講演会

SQiPとは？

- **SQiP**：「ソフトウェア品質を良くしたい」という思いを共有する人が集まるオープンなコミュニティ
- **SQiP** ~ **Software Quality Profession**
Profession: 高度な教育訓練を受けた専門的職業
- **日科技連SQiPソフトウェア品質運営委員会** (1980設置、2007名称変更)
 - **普及促進**：シンポジウム、研究会、資格試験、セミナー、**国際連携**など
 - **研究開発**：SQuBOK Guide (2007第1版、2014第2版)
 - **コミュニティ**：ソフトウェア品質保証部長の会、各種コミュニティなど

WCSQ: World Congress for Software Quality

- **JUSE(日本)-ASQ(米国)-EOQ(欧州)の合同会議として1995年に開始**
 - ASQ: Software Division of the American Society for Quality
 - EOQ: European Organization for Quality
- **現在は、ASQN(アジア)-ASQ(米)-iSQI(欧州他)の合同会議**
 - ASQN: Asian Software Quality Network
 - ASQ: Software Division of the American Society for Quality
 - iSQI: International Software Quality Institute
- **これまでの開催履歴と、これからの予定**
 - 1st: San Francisco, USA (1995)
 - 2nd: Yokohama, Japan (2000)
 - 3rd: Munich, Germany (2005)
 - 4th: Bethesda, USA (2008)
 - 5th: Shanghai, China (2011)
 - 6th: London, UK (2014)
 - 7th: Lima, Peru (2017) → 開催ルポ : http://www.juse.or.jp/upload/files/7wcsq_reportage.pdf
 - 8th: Kuala Lumpur, Malaysia (2020)

7WCSQ

- Software Quality Meets IoT -

33カ国 417名の参加

6件のチュートリアル

36件の発表 (日本から4件)

→ 一般投稿から選ばれた内容

アジア地域のソフトウェア品質ネットワーク (2013設立)

- 日本: JUSE/SQiP
- 中国: SSIA (Shanghai Software Industry Association)
- マレーシア: MSTB (Malaysian Software Testing Board)
- 韓国: K.SEN (Korea Software Engineering Network)
- タイ: SWPT (Software Park Thailand)
- フィリピン: PSIA (Philippine Software Industry Association)

これまで／これからのASQN

- 第1回: Kuala Lumpur, Malaysia (2013) SOFTEC Asia 2013と併催
- 第2回: Shanghai, China (2014) Forum on Software Tradeと併催
- 第3回: Tokyo, Japan (2015) ソフトウェア品質シンポジウムと併催
- 第4回: Jeju, Korea (2016)
- 第5回: Kuala Lumpur, Malaysia (2017) SOFTEC Asia 2017と併催
- 第6回: Shanghai, China (2018年6月を予定)



SQiPが国際活動をなぜ行うのか

- **ソフトウェア品質に関する産業界の活動成果を、海外発表する機会を提供**
 - グローバル時代のプロフェッショナル技術者として、活動成果を英語で論文にまとめ、海外で口頭発表するという経験を有することが求められている
 - 学術研究の発表の場は多数あるが、このような場の多くは学術研究としての完成度が求められることもあり、実務の成果を発表するにはハードルが高すぎる
 - SQiPソフトウェア品質シンポジウムのような、産業界での有用な取り組み事例を海外で発表できる場を、WCSQやASQNを通じて提供していきたい
- **「日本のソフトウェア品質」のプレゼンスを示す**
 - 私たちが積み重ねてきたソフトウェア品質への取り組みは、世界に誇れる成果である
 - 自信を持って、グローバルな場で情報発信していきたい
- **多様な文化、多様な価値観との直接交流**
 - ガラパゴス化しないためにも、交流の機会が必要
 - 論文や資料で知ることでもできるが、会って直接聞くことで得られるものがある

これからも、SQiPの国際活動に関心を持っていただければ幸いです